

岩手大学贈呈式 令和4年10月28日(金)



大学生を食でサポート 岩手県内4大学へ 岩手県産食材贈呈

盛岡大学贈呈式 令和4年11月7日(月)



富士大学贈呈式 令和4年11月16日(水)



J A全農いわてでは、目指すべき理想像を「つなげる」「ひろげる」「根を張る」の3つの柱とした「純情産地いわてブランドプロミス」として制定しています。そのうち「根を張る」取り組みとして、また、SDGs（持続可能な開発目標）を通じて豊かで活力ある未来を創る取り組みのひとつとして、岩手県内の大学生食堂に対する食材支援を行いました。

昨年引き続き2回目となる今年度も「岩手大学」、「盛岡大学」、「富士大学」、「岩手県立大学」へ、岩手県産の牛肉や豚肉、長ネギ、ダイコン等を贈呈しました。各贈呈式では、林副本部長、佐竹副本部長、管理部菅原次長が、「コロナ禍や物価高騰など厳しい状況のなか頑張って生活している学生を栄養面でサポートしたい。生産者が心を込めて育てた純情産地いわての美味しい食材で、充実した学校生活を送ってほし

岩手県立大学贈呈式 令和4年11月17日(木)



い」とあいさつしました。

学生食堂では、様々なメニューが通常価格より安価な値段で提供され、学生たちは県産食材に触れるきっかけとなりました。

J A全農いわてでは、こうした取り組みを通じ「地域社会の一員として、強く根を張る」活動を今後も強化していきます。

◆いわて純情米、さらなる需要拡大へ

令和4年10月21日(金)

「みちのく純情会」開催

10月21日(金)、盛岡市のアートホテル盛岡で「令和4年度 第2回 みちのく純情会」が開催されました。

「みちのく純情会」は、県外のいわて純情米主要取引先5社と本会で組織され、「いわて純情米」の生産から消費までのあらゆる面で連携し合いながら、円滑に流通させることを目的としています。この日は、達増拓也岩手県知事をはじめとする県関係者、いわて純情米の生産者代表県下JAの組合長など54名が参加し、いわて純情米の令和4年産の生産状況や、今後の販売戦略について様々な意見が交わされました。

今後の取り組みについては、みちのく純情会会員卸会社を主とするパートナー取引先と連携し、収穫前契約・複数年契約を増やし、生産者の安定経営とコメの安定供給を図るための、新たな需要獲得への提案を積極的に行う、といったビジョンが示されました。

その後の産地情勢報告では、地域のJAから「コメ農家は依然厳しい状況に置かれている。将来の希望が見えるような連携とサポートをお願いしたい」という要望も出されました。今後もみちのく純情会を通じて、「純情産地いわて」と消費地がWin-Winの関係となるよう一丸となって取り組んでいきます。



「令和4年度 第2回 みちのく純情会」のようす



今年収穫された「金色の風」「銀河のしずく」「ひとめぼれ」の試食も提供されました

◆地元消費拡大に向けPR

令和4年10月22日(土)

いわての美味しいお米 新米フェア

10月22日(土)、盛岡市のイオンモール盛岡で「いわての美味しいお米 新米フェア」が開催されました。

今回のフェアは、岩手県産米ブランド「いわて純情米」の知名度向上、および販売力強化による需要拡大を目的として、岩手県とJA岩手県五連、株式会社純情米いわてで組織する「いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会」が主催しました。

セレモニーでは、達増拓也岩手県知事が「生産者の方々の苦勞が実り、今年もいいお米ができた。金色の風、銀河のしずく、ひとめぼれそれぞれの美味しさを味わっていただきたい」と挨拶しました。続いて小野寺敬作JA岩手県五連会長が登壇し「10月から新米の販売を開始し、並行してプレゼントキャンペーンを行っている。CMも放映中で全国にPRしていくので、今後とも美味しいいわて純情米をご愛顧いただきたい」と呼びかけました。

その後、岩手に移住し活動しているお笑い芸人・天津木村さんのビデオメッセージ、岩手県釜石市のラグビーチーム「釜石シーウェーブス」への新米贈呈などが行われました。



セレモニーのようす



「新米お買い上げ抽選会」の説明とPRをする、いわて純情むすめの服部咲希さん

◆学校栄養士監修でメニュー開発

令和4年11月1日(火)

給食に「県産豚肉100%」メンチカツ

岩手県産豚肉の消費拡大を図るため、県産豚肉を100パーセント使用した学校給食用メニュー「いわて純情メンチカツ」を開発しました。それに合わせ県畜産業への理解も深めてもらいたいと、11月1日(火)にメニュー提供第一号となった奥州市立水沢南小学校で食育授業を行いました。

「いわて純情メンチカツ」は、本会が岩手県学校栄養士協議会監修のもと、岩手県学校給食会と(株)いわちくの協力を得て企画・製造しています。豚肉のほか、パン粉の原料にも県産小麦「ゆきちから」を使っています。メニューを検討するにあたり「豚肉を多く使い、給食のメインのおかずとして提供できる」「加工品として製造することで学校給食調理師の作業を軽減できる」「乳・卵などのアレルギー物質を使わず製造でき、多くの児童生徒に提供できる」といった理由からメンチカツが選ばれました。

提供第一号となった水沢南小学校では、午前中に3年生を対象とした食育授業が実施されました。本会職員が講師となり、豚の生態に関するクイズを出したり、豚に給与している配合飼料を持参し実物を見せたりなど、児童たちが楽しく学べるよう工夫を凝らしました。また、生産者である『岩手県農協養豚経営者連絡協議会』会長の平谷東英さんが、養豚の仕事について紹介しました。興味深そうに話を聞いていた児童たちからは「豚はいつ寝るんですか」など率直な質問が飛び出しました。最後に、この日の給食に出てくる「いわて純情メンチカツ」に岩手県産豚肉が使われていることや、製造過程を紹介し授業は終了しました。その後の給食でメンチカツが登場すると、児童たちは目を輝かせて頬張り「外はサクサク、中は柔らかくて美味しい」と笑顔を見せました。

「いわて純情メンチカツ」は今後、県内の各小中学校で提供される予定です。JA全農いわてでは学校給食における食育と、県産豚肉の消費拡大を継続的に推進していきます。



初登場の「いわて純情メンチカツ」を頬張る児童たち



授業の様子



給食の前には、食育授業が行われました



「いわて純情メンチカツ」が提供されました

2. 点検整備体制の拡充

大型化する農業機械への修理整備対応力の強化等を目的として、全農岩手県本部では平成27年より基幹整備センターが稼働しています。

点検整備では、生産者の方からお預かりした農業機械を、約90～140ヶ所の点検項目にもとづき「整備見積書」を作成した上で、ご要望に合わせて整備をします。

ぜひ、お手持ちの農業機械の点検整備は、お近くのJ A農機センターへご相談ください。

真心を込めた点検整備で、県内の農作業を機械面から全面的にバックアップいたします。



田植機の洗車風景



コンバインの整備風景

3. コンバインにおける共同購入のとりくみ(第3弾)

J Aグループでは、生産資材コスト低減にむけ「共同購入」に取り組んでおります。

第1弾の大型トラクターでは3ヵ年で2,214台を出荷、第2弾の中型トラクターでは、取組開始から2,800台以上を出荷し好評を得ています。

続く第3弾では、1haあたりの利用経費が高い機種であるコンバインの開発に着手するため、生産者の方のアンケート(7,299件)にもとづくニーズ分析や農業者3団体との意見交換を元に、令和4年9月に国内農機メーカー4社に開発要求を行いました。

共同購入コンバインの製品発表は令和6年1月、供給開始は令和6年4月を予定しています。

【主要3機種の1haあたり利用経費】 (単位:千円 全農調べ)

| 項目 | 固定費※① A | 変動費※② B | 利用経費 C=A/10+B |
|-------------|------------|------------|------------------|
| トラクター(30PS) | 1,095 | 13 | 123 |
| コンバイン(4条刈) | 1,729 | 14 | 186 |
| 田植機(6条植) | 771 | 10 | 87 |

最も利用経費が高い



※①固定費：減価償却費、修理費、車庫費等。「機械購入価格×年間固定費率」で算出。
(耕作面積10haあたり)

※②変動費：燃料費(潤滑油含む)、労賃(オペレーター、補助者)



INTRODUCTION

生産資材部

生産資材部 農業機械課の取り組みについて

農機事業における生産コスト低減の取り組みについて

はじめに

J Aグループでは、格納点検整備の推進と次期共同購入でコンバインに取り組むことで、機械コスト低減に取り組みます。

1. 格納点検整備のメリット

格納点検整備とは、農業機械を使うシーズンが終わり、倉庫で保管する前に行う点検整備のことです。

オフシーズンに点検整備をして万全の状態にするため、シーズン中「いざ使いたい」という時の故障による作業遅れや、作業遅れによる作物の品質低下を未然に防ぎます。

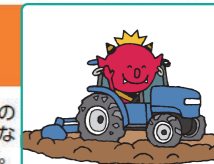
また、早い時期に機械の悪い部分を発見することで、大きな故障につながる前に修理ができるため、農業機械を長持ちさせ機械コストの低減につながります。

人間ドックや健康診断と同じく、農業機械も定期的に点検整備をすることが必要です。

こんなお客さまにおすすめします!

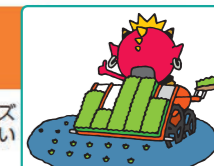
1 1年を通じて、よく使うトラクターは、いつも調子よくないと困るんだ!

耕うん、代かき、畝立て...と活躍するトラクターは、痛みや消耗が激しいものです。大掛かりな修理や部品待ちで作業が止まれば、のちの作業計画に大きな影響がでます。ぜひ定期的な点検整備をお受けになることをおすすめします。



2 田植機は作業精度が肝心! 新車時の性能を長く維持していきたい!

田植機の調子は、その後の稲の生育に影響を与えます。また、作業シーズンが年1回ということもあり、前年度の作業で気になっていた不調や気づいていない不具合箇所などを、点検整備で解消することをおすすめします。



3 シーズン中にコンバインの故障は作業の計画が遅れるので、とても心配!

前年度は、調子よく使えたから、今年度も調子よく使えるとは限りません。刈取シーズン中のトラブルは、修理待ち、部品待ちで作業が止まる場合もあります。点検整備をすることで、トラブルを防いで計画的な作業ができます。

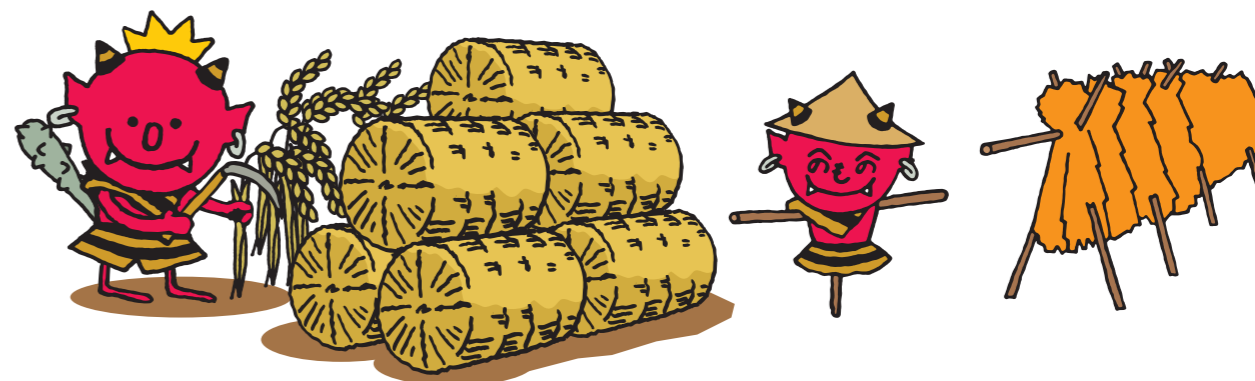


4 農機は高い機械だから、可能な限り長持ちさせたい!

点検整備をすることで、機械の機能・性能が回復します。また、もしも悪いところが見つかったら、重大な故障になる前に修理ができるので、機械の長持ちも期待できます。



使用回数が少ないお客さまのご所有機でも、2～3年に1回は点検整備をおすすめします。





いわて純情セレクト

「純情産地いわて」から、選りすぐりの農畜産物を販売しています。オススメ商品盛りだくさん! 詳しくはこちらから▶▶▶

<https://www.ja-town.com/shop/c/cB4/>

いわて純情セレクト



盛岡育ちのさつまいも「紅はるか」

●3kg 販売価格 **4,100円**(税込)

盛岡市の北部(玉山地区)に位置する自然豊かな農場で栽培されたさつまいも「紅はるか」。

甘みが強いのが特徴で、焼きいもや料理、お菓子にも適しています。

寒くなるこれからの時期に甘い「紅はるか」で、あたたまってはいかがでしょうか。



姫神山に後方から抱かれ、岩手山を正面にした自然豊かな畑で栽培されています。

■商品の注意事項 商品到着後はさつまいもが冷えない場所で保管してください。



園芸部 園芸特産課
佐々木 仁

果樹の接ぎ木と台木の利用

■表1 台木の種類と利用目的

| 台木の種類 | 目的・特性 | 利用事例 |
|-------------|------------|---------------|
| M.26、JM7など | 樹勢調節(弱くする) | りんごのわい化栽培 |
| クインスA(ラノ)など | 樹勢調節(弱くする) | 西洋なしのわい化栽培(注) |
| ホームベルなど | 樹勢調節(強くする) | ブルーベリーの樹勢強化 |
| テレキ5BBなど | 害虫耐性 | ぶどうのネアブラムシ対策 |
| オールドホームなど | 接ぎ木親和性改善 | 西洋なしの中間台(注) |

注: 西洋なしのわい化栽培ではラ・フランスとクインスAの接ぎ木親和性が劣るため、双方に親和性のあるオールドホームなどを中間に挿入している(図3)。

1 はじめに
果樹の栽培では品質の安定した果実が収穫できる苗木生産が基本となります(クローンの増殖)。挿し木で増やせる樹種であれば同一品種の複製は容易ですが、これができない場合は台木に目的の品種を接ぎ木することによって可能となります。また、挿し木が可能な樹種であっても、台木の様々な性質(表1)を利用するため接ぎ木による苗木生産が行われています。



■図2 西洋なしの高接ぎ(赤い葉が穂品種)



■図1 テープを巻いた切り接ぎとテープ除去後

2 方法
接ぎ木には多くの手法があり、目的や樹種によって使い分けられています。台木に穂木を接ぐ代表的な手法は「切り接ぎ(図1)」ですが、他にも「割り接ぎ」や「袋接ぎ」などいろいろバリエーションがあります。さらにこれを応用し、既存の栽培樹に他の品種を接ぎ木して立木のまま品種更新



■図3 西洋なしわい化栽培での中間台利用

する「高接ぎ(図2)」という方法もあります。
また、接ぎ木の時期によって、冬に採取した穂木を春に接ぎ木する「休眠枝接ぎ」、夏に伸びている枝を穂木として用いる「緑枝接ぎ」に分けられます。さらに、「もも」などの核果類では夏に新梢の芽を削ぎ取って台木の皮下にはめ込む「芽接ぎ」が主流となっています。
日本では平安時代から接ぎ木が行われていたそうですが、江戸時代中期からは観賞用品種や果物の繁殖で盛んに行われ、当時は接ぎ木部をワラで縛り、さらに土を被せるなどして接合面の乾燥を防いだそうです。現在はビニールテープ(図1左)など伸縮性の優れた素材が用いられているため、接ぎ木活着率は格段に向上しています。
なお、接ぎ木は同一樹種同士が基本となりますが、遺伝的に近い樹種であれば接ぎ木が可能な場合があります(「りんご」と「西洋なし」など)。



全農東北エネルギー株式会社

えんどう たいせ 遠藤 汰一さん

●趣味・特技

趣味:釣り、キャンプ、スノーボード 特技:野球

●現在の担当業務

LPガスセンターのシステム管理に関する業務を行っています。主に顧客情報の登録、修正。保安業務システムへの登録、配送管理をしています。

●これからどんな職員になってみたいか

聞かれたらなんでも答えられるよう知識を身につけ、周りの方から頼られる職員になりたいです。

●その他アピール

LPガスのプロフェッショナルになれるよう日々精進していきます。

JA全農いわての純情人

じゅん じょう びと



いわて純情むすめ

活動報告



いちのせき産業まつり農業祭

令和4年10月30日(日)

10月30日(日)一関市総合体育館で開催された「いちのせき産業まつり農業祭」に佐々木智美さんと高橋怜那さんが参加しました。

2人はJAいわて平泉管内で収穫された「いわて平泉米」の新米を販売したほか、「いわて平泉米良食味コンクール」の表彰式のアシスタントを務めました。



「南部ピュアポーク」販売促進

令和4年10月23日(日)

10月23日(日)、青森県八戸市で行われた「南部ピュアポーク」の販促活動に松川奈愛さんが参加しました。

「南部ピュアポーク」は、岩手県北部の牧場で育てられる銘柄豚で、肉汁をたっぷり含んだきめ細やかな肉質とクセがなく甘味のある上質な脂身が特徴です。

松川さんは売り場に立って購入を呼びかけたほか、くじで当選された方へプレゼントを手渡しました。



一関ふるさと便「冬の便」出発式

令和4年11月2日(水)

11月2日(水)一関市のJAいわて平泉西部営農センターで開催された「一関ふるさと便「冬の便」出発式」に服部咲さんと岩淵春花さんが参加しました。

2人はセレモニーに参加したほか、トラックに「曲がりネギ」や「りんご」などを積み込み、交通安全を祈願してドライバーへ花束を贈呈しました。



Let's try cooking orders 32



好きなパンに具材をのせた「オープンサンド」りんごとブルーチーズのタルティーンヌ

◇材料(タルティーンヌ2個分)

- りんご(小)…1/4個
- パン(ここではスライスしたバゲット)…2切れ
- ブルーチーズ…40g
- くるみ(ローストしたもの)、はちみつ、ブラックペッパー…適宜

◇作り方

- ①りんご1/4個分は種を取り、皮付きのままスライスする。
- ②パンにブルーチーズを10gずつのせる。
- ③②の上に①のりんごを並べる。
- ④③の上に残ったブルーチーズをのせ、くるみを散らす。
- ⑤④をオーブントースターに入れ、ブルーチーズが溶けて焼き色がついたら取り出す。
- ⑥⑤の上に好みで、はちみつとブラックペッパーをかけて完成。
※チーズはブルーチーズ以外でも、カマンベールやピザ用チーズなどでもOK!

【残ったりんごで作る「りんごとかぶのサラダ」】

- 材料 りんご…3/4個、かぶ…2個(好みでかぶの葉っぱも適宜)、塩…5g、オリーブオイル…20g、オレンジの皮のすりおろし…少々
- 作り方 ①りんごは皮付きのままスライス。②かぶも皮付きのままクン切りにし、約16カットに。③ボウルに①と②と塩を入れ、混ぜ合わせる。④5～10分おいて、しんなりしてきたらオリーブオイルを加えて混ぜ合わせ、仕上げによく洗ったオレンジの皮のすりおろしを入れる。

料理監修

オーナー/佐々木朋美



紫波郡矢巾町又兵衛新田第7地割199
くるみアパートメント1F
TEL 019-681-7337
Mail tom1123tom@icloud.com
https://tom-creperie-deli.com

みのるダイニング

MINORU DINING

Instagram 随時更新中です!

自慢の料理やおすすめ情報、フェアの開催情報を随時アップしていきます!!

フォロー・いいねをよろしくお願いします!!



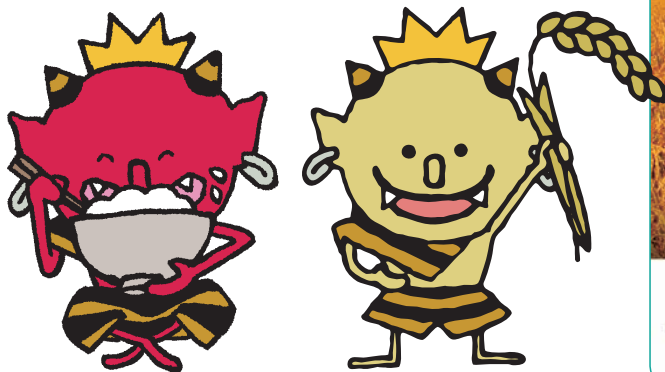
「金色の風」フェア開催

12月10日(土)～

みのるダイニングでは12月10日(土)から期間限定で令和4年産の「金色の風」を提供します。

「金色の風」は、品種特性から収量が「ひとめぼれ」や「銀河のしずく」よりも少ない代わりに、より品質・食味にこだわったお米です。

ぜひこの機会にみのるダイニングへお越しください。



吹き抜ける、 岩手の風。



金色の風
KONJIKI NO KAZE



美味しいお米の頂点へ。「金色の風」誕生。

これまでの常識を打ち破る、
ふわりとした食感と豊かな甘みが楽しめるお米です。

※岩手県

編集後記

2022年も残り1か月ですが、みなさんはどんな1年でしたか？ 私は新しいこと尽くして月日が経つのがあっという間でした。冷え込む季節ですが健康に気を付けて元気に2023年を迎えましょう！（大山）

KLARA

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋**
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 総合企画課

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8615 FAX019-653-6145

JA 全農いわてホームページ

<https://www.junjo.jp>

